

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 30 年 1 月 11 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 真和会	特別養護老人ホーム四季の里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りケアシステム M-2 低床3モーター	フランスベッド 見守りケアシステム付ベッド M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29 年 11 月 29 日	10 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 入所者に計10台使用しております。頻度はほぼ毎日使用しております。 日中の臥床時 オムツ交換 就寝時に高さを変えて使用しております。 簡易体重測定機能が付いているので、日々の体重変化にも気づきやすくなりました。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 センサーと一体になっている為、取り付けの手間が減った。 センサーも敏感に反応してくれるので外傷等の心配が減り、低床であることも要因と思われる。 ベッドの色も落ち着いた色で汚れが分かりやすくて良い。 柵を付けるレールが固定されているので故障の心配も軽減されている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 異音が発生したことがあったがコンセントが十分にささってなかったことが原因であったが表示等があると良いと思う。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年11月17日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団伝統医学研究会	介護老人保健施設 ハートビレッジ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・30V M1 (LM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 9月20日	9台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症により自身の身体状況の理解が難しく、転倒や転落の危険性が高い利用者の方や、入所前に病院等で体幹ベルト等の拘束をされていた新規利用の方に、夜勤帯と臥床時に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 導入以前はベッド脇や背中に敷くタイプのセンサーを使用していたが、誤作動が多く、また、すでに立ち上がっている状況で発見が遅れることがあった。 導入後は誤作動が無くなり、コールのタイミングも細かく調整できるため、職員の労力や精神的な負担も軽減でき、事故も防ぐ事ができている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 部屋のレイアウトの都合で、頭部側にスイッチをセットした場合、画面が見にくいことがある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年11月21日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム アイリスの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ベッドからの転落、転倒のリスクの高い利用者に対し毎日導入台数全てを使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 認知症などによりナースコールの利用が困難な利用者に対して、動作探知による見守りを行うことで、頻繁な見回りが軽減された。これにより職員の負担軽減となっている。また、ベッドと動作センサーが一体となっているので、従来のセンサーのように個別に管理する必要もなくなり、物品管理の面でも煩雑さが軽減されている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサーの作動条件を段階的に設定できることは大きな利点だが、利用者ごとに適切な設定を行わなければ効果が発揮されないこととなる。職員は利用者の状況と機器の特性をよく理解し、運用する必要がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年11月17日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム だん暖の郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 毎日、臨床対応時に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッド上での体動が見られる方に毎日使用することで転落時の衝撃が最小限となり、センサー設置による俊敏な対応が可能となったことで、転落による骨折・怪我防止と軽減に努めることができている。また、従来は布団対応としていたこともあり、入所者の衛生面の確保や介護従事者の腰への負担軽減に努めることができている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 リモコン式で、全て YES/NO の操作で行えることが非常に使いやすくわかりやすい。また、センサーも個別に応じた設定が可能で非常に使い勝手が良いと感じる。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年11月7日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 薄光会	特別養護老人ホーム三芳光陽園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB - 033・L - 2・30V MI(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 9月 29日	3	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 自ら離床することが可能な利用者で、認知症によりナースコールを押す等の理解が難しい方を対象に夜間就寝時、日中静養をされる際に毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・導入以前は、離床センサーを使用していたが、電源の入れ忘れやセンサー反応せずに転倒・転落に至っていた事故を未然に防いでいます。 ・導入後、該当機器利用者のベッドからの転落・転倒事故は発生していません。 ・特に職員数が少なくなる夜間の巡回回数が減少し、職員の精神的な負担軽減も図れています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・センサーが過剰反応してしまう。臥床時に体動の激しい方には不向き。 ・職員の意識の問題ですが、センサーが過剰に反応してもいつものことと勝手に思い込んでしまったり、逆に過信し巡回や訪室を怠ってしまう危険性がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 29 年 12 月 5 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 市川朝日会	特別養護老人ホーム サンライズ市川	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1 (DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29 年 10 月 19 日	9 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 離床センサー付ベッドを活用することにより、1 日平均 5 回ナースコールとして反応し職員が居室へ駆けつけている。多い方だと 10 回センサーが反応している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 入居者の動きを起きる前に知ることができ、転倒事故の件数が減った。また、骨折等の大きな事故も起きていない。 危険を早く発見できるので、効率的な見守りが行えるようになり、介護負担の軽減がされている。精神的な負担の軽減にもなっている。 家族も最新の機器を使用することにより、安心感、満足度が高い。 また、そのことにより離職率の低下にも繋げていきたい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 機械の操作方法を徹底する手間がかかる。 使用法を守らないと事故が起こる危険がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 31 年 2 月 27 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 真和会	特別養護老人ホーム四季の里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りケアシステム M-2 低床3モーター	フランスベッド 見守りケアシステム付ベッド M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29 年 11 月 29 日	10 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 入所者に計10台使用しております。頻度はほぼ毎日使用しております。 こちらは、個人に合わせたモードで、使いやすく対応できています 簡易体重測定機能が付いているので、日々の体重変化にも気づきやすくなりました。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 誤作動なく多種のモードがあり、入所者それぞれのニーズに対応できています 全体も以前よりコンパクトで居室からの移動もスムーズにできて、職員の負担も減ってきました。 液晶センサーは、操作方法が分かりやすく新入職員等にも教えやすいと思われます。さらに、センサーと一体になっている為、取り付けの手間が減った。 センサーも敏感に反応してくれるので外傷等の怪我が減り、要因と思われる。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 コード配線を絡めてしまうことがあり、破損してしまった事があり動作前の確認を徹底していく。ベッドにリモコンをかける場所があれば良いと思う。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年 3月 5日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団伝統医学研究会	介護老人保健施設 ハートビレッジ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB - 033・L - 6・30V M1 (LM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 9月20日	9台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症により自身の身体状況の理解が難しく、転倒や転落の危険性が高い利用者の方や頻繁に転倒歴のある新規利用の方に、夜勤帯と臥床時に毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 誤作動がなく効率的に見守りができ、職員の負担軽減になっている。 コールのタイミングを調整できるため、利用者の状況に応じて細かい設定が可能となり、事故件数の削減に繋がっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 機器の設定にはある程度の慣れが必要で、新人職員は取り扱いに苦慮することがある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年3月4日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム アイリスの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ベッドからの転落、転倒のリスクの高い利用者に対して毎日導入台数全てを使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 認知症などによりナースコールの利用が困難な利用者に対して、動作探知による見守りを行うことで、頻繁な見回りが軽減された。これにより職員の負担軽減となっている。また、ベッドと動作センサーが一体となっているので、従来のセンサーのように個別に管理する必要もなくなり、物品管理の面でも煩雑さが軽減されている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサーの作動条件を段階的に設定できることは大きな利点だが、利用者ごとに適切な設定を行わなければ効果が発揮されないこととなる。職員は利用者の状況と機器の特性をよく理解し、運用する必要がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年03月22日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム だん暖の郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 毎日、臨床対応時に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッド上での体動が見られる方に毎日使用することで転落時の衝撃が最小限となり、センサー設置による俊敏な対応が可能となったことで、転落による骨折・怪我防止と軽減に努めることができています。また、従来は布団対応としていたこともあり、入所者の衛生面の確保や介護従事者の腰への負担軽減に努めることができています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 リモコン式で、全て YES/NO の操作で行えることが非常に使いやすくわかりやすい。また、センサーも個別に応じた設定が可能で非常に使い勝手が良いと感じる。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年2月23日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 薄光会	特別養護老人ホーム三芳光陽園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB - 033・L - 2・30V MI(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 9月 29日	3	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 立位、歩行が不安定であるが、自ら離床することが可能な利用者で、認知症によりナースコールを押す等の理解が難しい方に夜間就寝時、日中静養をされる際に毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・導入以前は、離床センサーマットを使用していたが、電源の入れ忘れやセンサーが反応せずに転倒・転落に至っていた事故を未然に防いでいます。 ・導入後、該当機器利用者の転落・転倒事故は発生していません。 ・特に職員数が少なくなる夜間の巡回数が半減し、職員の精神的な負担軽減も図れています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・センサーが過剰反応してしまう。臥床時に体動の激しい方には不向き。 ・職員の意識の問題ですが、介護ロボットを過信することで、巡回や訪室を怠ってしまう可能性がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年2月22日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 市川朝日会	特別養護老人ホーム サンライズ市川	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1 (DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年10月19日	9台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 離床センサー付ベッドを活用することにより、早期に利用者の動きに反応することができ、転倒のリスクを大幅に減らすことができている。 1日平均4回ほどセンサーが反応し職員が駆けつけている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 夜間に一人で動かれ、転倒されてしまうかもしれないという、職員の精神的な負担が軽減され、職員が効率よく見守りができている。 実際の転倒事故も減少し、骨折の事故は起きていない。 入居者、家族も最新の介護ロボットが導入されていることにより、安心感があると満足度が高い。 また、新規職員面接時にも、介護職員のために介護ロボットが導入されていることがアピールで職員の採用に繋がっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 使用手順を守らないと事故が起こる危険がある。 正常に作動するか、定期的に点検することが必要である。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月 28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 真和会	特別養護老人ホーム四季の里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りケアシステム M-2 低床3モーター	フランスベッド 見守りケアシステム付ベッド M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 29日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 夜間多種モードを切り替えして使うことがしっかりと使用が来ています。 利用者の状況に合わせて対応ができてます。 簡易体重測定機能が付いているので、日々の体重変化にも気づきやすくなりました。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>センサーの感度がよく コールとの連動が来ていますので、多動な入所者の対応がスムーズに行われています。 液晶センサーは、操作方法が分かりやすく新入職員等にも教えやすいです。 さらに、センサーと一体になっている為、取り付けの手間が減った。 センサーも敏感に反応してくれるので外傷等の怪我が減り、要因と思われる。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>ベッドの移動時にコンセントを入れたまま引っ張ってしまい、破損したことがあります、気を付けていく必要がある。 ベッドにリモコンをかける場所があれば良いと思う。</p>		

H29-2

(別紙 2)

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月 28日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団伝統医学研究会	介護老人保健施設 ハートビレッジ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB - 033・L - 6・30V M1 (LM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年 9月20日	9台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症により自身の身体状況の理解が難しく、転倒や転落の危険性が高い利用者の方や頻繁に転倒歴のある新規利用の方に、夜勤帯と臥床時に毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 着実に事故件数の削減に繋がっている。 また、効率的に見守りができ、特に夜勤帯で職員の精神的・身体的負担の軽減になっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 機器の設定にはある程度の慣れが必要で、新人職員は取り扱いに苦慮することがある。（停電時に再設定が必要なこと等）		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム アイリスの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ベッドからの転落、転倒のリスクの高い利用者に対して毎日導入台数全てを使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>認知症などによりナースコールの利用が困難な利用者に対して、動作探知による見守りを行うことで、頻繁な見回りが軽減された。これにより職員の負担軽減となっている。また、ベッドと動作センサーが一体となっているので、従来のセンサーのように個別に管理する必要もなくなり、物品管理の面でも煩雑さが軽減されている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>センサーの作動条件を段階的に設定できることは大きな利点だが、利用者ごとに適切な設定を行わなければ効果が発揮されないこととなる。職員は利用者の状況と機器の特性をよく理解し、運用する必要がある。</p>		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

令和2年02月25日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 白寿会	特別養護老人ホーム だん暖の郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年9月29日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>毎日、臨床対応時に使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ベッド上での体動が見られる方に毎日使用することで転落時の衝撃が最小限となり、センサー設置による俊敏な対応が可能となったことで、転落による骨折・怪我防止と軽減に努めることができている。また、従来は布団対応としていたこともあり、入所者の衛生面の確保や介護従事者の腰への負担軽減に努めることができている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>リモコン式で、全て YES/NO の操作で行えることが非常に使いやすくわかりやすい。また、センサーも個別に応じた設定が可能で非常に使い勝手が良いと感じる。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月 24日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 薄光会	特別養護老人ホーム三芳光陽園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステムFB - 033・L - 2・30V MI(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 9月 29日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位、歩行が不安定であり、自身で離床ができる方を対象に使用しています。 ・ナースコールを押してもらえない認知症の方に使用しています。 ・夜間はもちろん、日中帯も居室静養する特に活用しています。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入後、該当機器利用者の転落・転倒事故は発生していません。 ・センサーマットと違い、電源の入れ忘れや誤作動（未作動）もなく介護職員の不安解消にもつながっています。 ・特に職員数が少なくなる夜間の巡回数が減少し、職員の精神的な負担軽減も図れています。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーの反応調整もできるため、誤動作や必要以上にコールが反応する事はありません。 ・ナースコールと連動しているため、ナースコールとセンサー反応との区別がつかない。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 市川朝日会	特別養護老人ホーム サンライズ市川	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-2・30V M1 (DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年10月19日	9 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>転倒、転落のリスクの高い方に使用していて、1日平均5回ほど反応し職員が駆けつけている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>特に夜間の転倒転落のリスク軽減することに役立っている。寝返り、上体起こし、端坐位、立ち上がりの4段階の入居者の動きを設定できるので、個々の入居者のADL、リスクに合わせた対応が可能で、入居者、家族の安心感、満足度の向上につながっている。</p> <p>また、入居者の安全に過ごせることが、職員の精神的負担の軽減になっている</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>正常に作動するか、定期的に点検することが必要である。</p>		